

# Women @TRON

## Android と格闘中 「JavaもC++も アセンブラもやらないきゃ」

榎本 紗央さん・藤吉 愛さん  
イーソル株式会社  
ソリューションエンジニアリング事業部



「eSOL Adaptor for Android」(右画面)で作業中。作業に使用する開発ツールは、同社製品の「eBinder」(左画面)。

### —— 今の業務は？

**榎本** 2010年1月から、Linux上で動くAndroidをeT-Kernel上で動かすアダプタ「eSOL Adaptor for Android」(→P.50)の開発プロジェクトの仕事をしています。Androidに対応するために社内の組織横断的に作ったプロジェクトで、メンバーは10数人、女性は3人です。ここで構成管理を中心とした仕事をしています。

**藤吉** 私も同じプロジェクトで、各OSのドライバの違いなどの調査を

しています。

### —— 仕事は難しい？

**榎本** 昨年までは、映像を編集するBlu-ray用のオーサリングアプリをC#で開発していました。C#は何でもやってくれるので、それが普通だと思っていたのですが、今の開発では、アプリ層がJava、その下のレイヤはC++やアセンブラ。C#のようにいろいろやってくれないのでびっくりしました(笑)。

**藤吉** 私の仕事は、人が書いたソースコードを読んで調べることなの

で、やはりJavaもC++もアセンブラも読まなくてはいけないのが大変。悪戦苦闘しています。

### 目の前にある仕事に全力投球

**榎本** Android関係は新しい分野なので、調べることは山ほどあります。社内でも技術に詳しい人は少なく、ネットで最新情報を調べたり、本を読んだりして一生懸命勉強しています。最先端の技術と言われますが、普段の業務の中でそれを意識している余裕はなく、とにかく目の前にある仕事に全力で取り組んでいるだけ。ニュースで大きく取り上げられたりすると、逆にびっくりするくらいです。自分の仕事に関係ある記事は、特に注意して見るようにしています。

### —— 文系からどうしてこの会社に？

**榎本** 就活のときに人事の人にかけていただいた言葉がきっかけです。

#### 榎本 紗央 (えのもと さお)

入社5年目。文学部出身。海外のアクション映画をたくさん借りてきてまとめて見るのが好き。「アンドロイド」と聞いたときは、人造人間だと思った。



#### 藤吉 愛 (ふじよし あい)

入社2年目。法学部出身。「ER」など医療系の海外ドラマをよく見る。今秋には基本情報技術者試験を受ける予定。

「もちろん君にはうちの会社に来てほしいけど、人生の先輩としては、いろんな会社を見てきてほしい」と言われました。その気持ちがたいへんうれしくて、こういう会社なら、と思って決めました。

**藤吉** 私はもともと働く女性に憧れて、バリバリやりたいと思っていました。文系で、周囲にはSEになる人もいなかったのですが、人にできないことをやってみたいと思って入りました。人からは「ちゃんとやってるの？」などとからかわれますが、仕事はずっと続けたいと思います。

**榎本** 私も仕事はずっと続けたいです。会社にはプログラムだけでなく、たとえば営業とかマーケティングとかサポートとか、技術を知らなければできない業務がいろいろあります。将来は、そういう会社にとって役に立つ仕事を幅広くやっていきたいと思っています。

**藤吉** 私はまだ2年目なので、まず自分に力をつけることが最大の課題。本を読んだり、人に聞いたりして、とにかく当面は技術的に一人前になることが目標です。T-Kernelのことも、最初の研修のときに初めて知ったので、もっと勉強します。自分では、研修で教わったCが好きです。Cは難しいのでまだまだ勉強中ですが、プログラムが動いたときは楽しいですね。

**榎本** 技術的なことは難しいですね。わからないときは「この仕事に向いてないかも…」と落ち込むこともあります。でも、後輩もいることだし、やらないきゃいけないと思って



必死にやっています。(笑)

### 一番うれしかった言葉は「わからなかったらすぐ聞いて」

**榎本** 業務ではいろいろな場面で上司や先輩から教わることがたくさんありますが、その時々で注意されたことがそのまま仕事にたいへん役立っています。たとえばソースコードの書き方についても「いろんな人が読むものだから」と、読みやすいコードの書き方を1つ1つ教えてもらい、とても勉強になりました。

**藤吉** 私はまだ、「何がわからないかわからない」くらいなので(笑)、本を読んでも理解できないことがたくさんあります。誰かに聞きたいと思っても、自分はまだ勉強させてもらっている立場だから、忙しく働い

ている先輩にはとても聞きにくい。心の中で「こんなこと聞いてもいいのかな」「迷惑じゃないかな」と思ってしまいます。そんなとき、上司から「わからなかったらすぐ聞いて」「何を聞いてもいいよ」と言われたのが、今までで一番うれしかった言葉です。そう言ってもらってからは、精神的にずっと楽になり、簡単なことでも遠慮なく質問できるようになりました。これからも、たくさん教えてもらいながら勉強していきます。①

聞き手=中西 佳世子(編集部)



00020822  
ucode

#### イーソル株式会社

T-Kernel / ITRONベースの組込み用OS、開発環境、ミドルウェアなどを開発するほか、組込みシステムにかかわる受託開発、リサーチ、コンサルテーション、人材教育などを幅広く手がける。社員約400名のうち女性は約2割。東京・中野の眺望の良い高層ビルにオフィスを構える。T-Engineフォーラム幹事会員。  
<http://www.esol.co.jp/>